

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結) 平成15年8月14日

上場会社名 大阪魚市場株式会社 (コード番号:8041 大証第一部)
 (URL http://www.uoichi.co.jp)
 問合せ先 代表者役職 代表取締役社長
 氏名 溝上源二
 責任者役職 取締役常務執行役員事務本部長
 氏名 白川勝弘 (TEL(06)6469-2003)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高、経常利益及び当期(四半期)純利益

(百万円未満の金額は切捨てて表示)

	売上高		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	90,196	-	148	-	98	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	401,693		3,636		1,828	

(注) 1. 当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

2. 当第1四半期の連結業績数値については監査法人の監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期の国内経済は、依然として不透明な状況のなか、消費低迷が長期化する厳しい環境が続きました。水産物流通業界におきましても、個人消費の低迷による価格低下や天候不順も重なり厳しい推移となりました。このような状況のなか、当社グループの第1四半期の売上高は901億96百万円となりました。事業部門別では、卸売市場における水産物販売は544億29百万円(構成比60.4%)、卸売市場以外での水産物販売は343億8百万円(構成比38.0%)、その他14億58百万円(構成比1.6%)となっております。なお、当社グループは第3四半期に売上が集中する季節要因があります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

【連結】

百万円

		売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想 (A)	中間期	190,000	950	400
	通期	404,000	3,300	1,600
前回発表予想 (B)	中間期	190,000	1,300	800
	通期	405,000	3,600	1,800
増減額 (A) - (B)	中間期	-	350	400
	通期	1,000	300	200
増減率 (%)	中間期	-	26.9	50.0
	通期	0.2	8.3	11.1
(ご参考) 前年実績 (平成 15 年 3 月期)	中間期	196,075	1,584	644
	通期	401,693	3,636	1,828

【単体】

百万円

		売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想 (A)	中間期	106,000	650	300
	通期	223,000	1,500	750
前回発表予想 (B)	中間期	112,000	850	400
	通期	230,000	1,800	850
増減額 (A) - (B)	中間期	6,000	200	100
	通期	7,000	300	100
増減率 (%)	中間期	5.4	23.5	25.0
	通期	3.0	16.7	11.8
(ご参考) 前年実績 (平成 15 年 3 月期)	中間期	111,739	967	446
	通期	227,407	1,801	714

当第 1 四半期の業績は、当初の想定をやや下回る形で推移いたしました。第 2 四半期につきましても、厳しい環境は続き、短期的には需要の回復や魚価の上昇は見込めないものと予想されるため、当中間期及び通期の業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。